

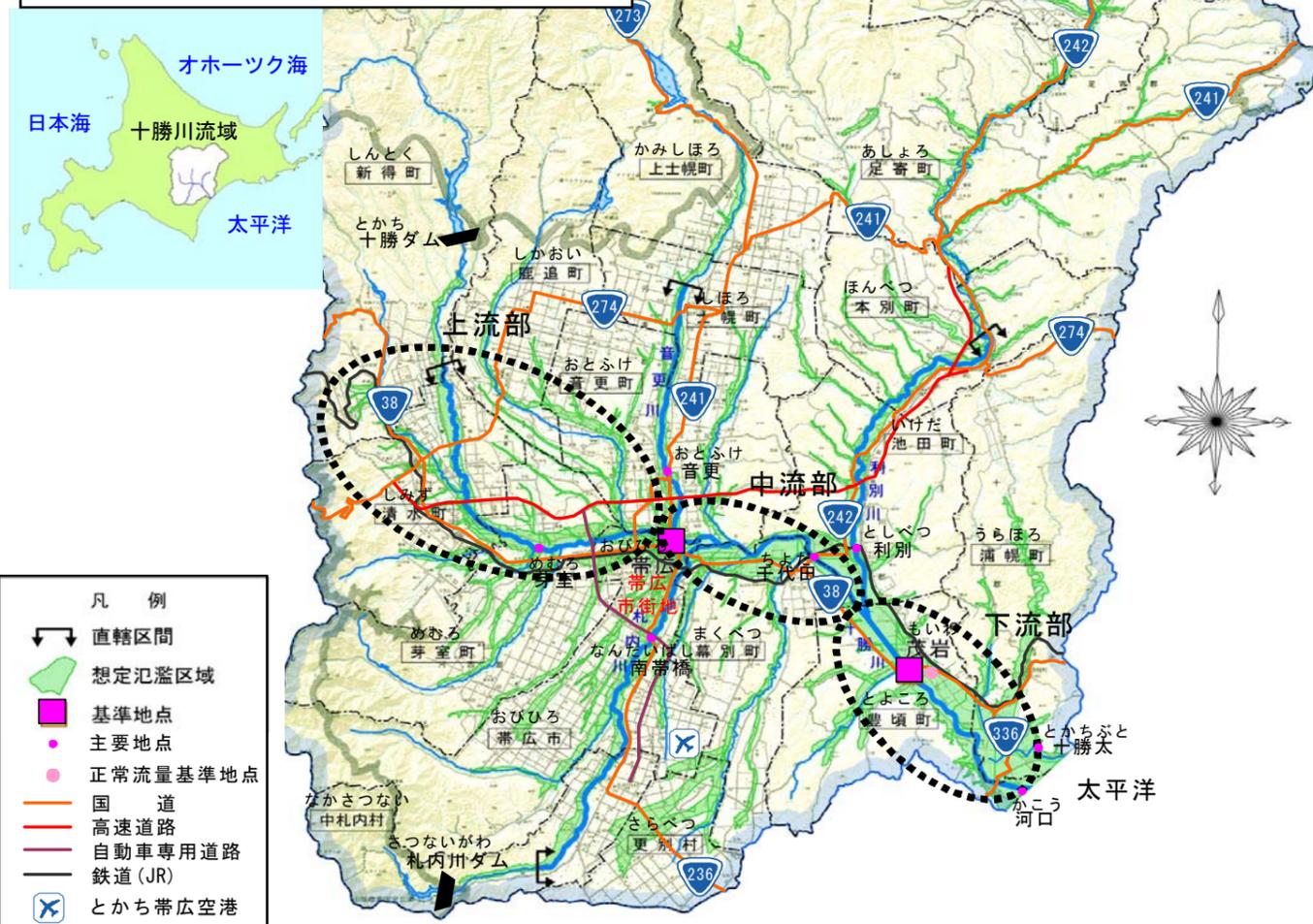
十勝川水系河川整備基本方針(案)の概要

流域及び河川の概要

- 十勝地方は日本有数の食料供給地であり、流域の27%が農地。
- 十勝川流域は大雪山国立公園をはじめとして雄大な景観を有し、自然環境が豊か。
- 流域の中で人口、資産等が集積する帯広市街地において、土砂生産が多く急勾配の札内川等が合流。

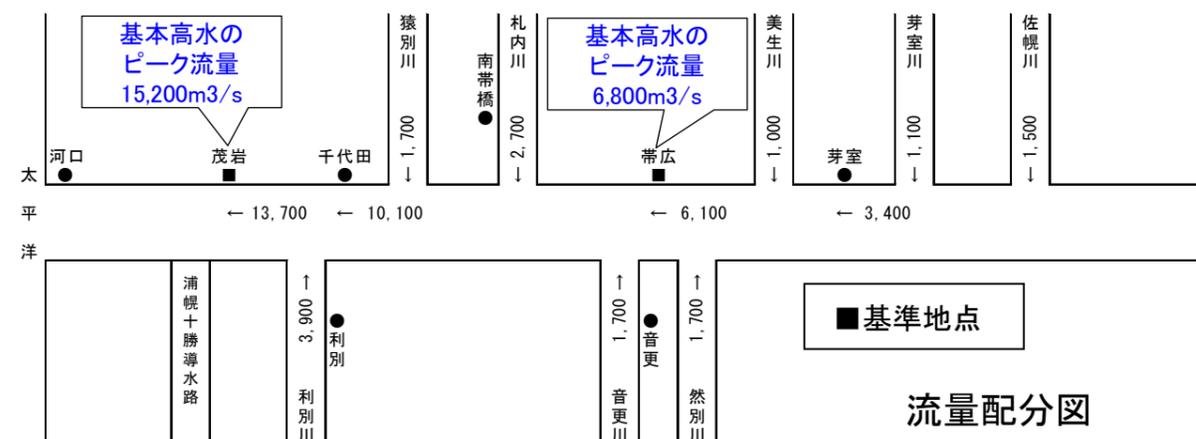
流域及び氾濫域の諸元

流域面積 : 9,010km²
 幹川流路延長 : 156km
 想定氾濫区域内人口 : 約16.1万人



災害の発生の防止又は軽減

- 工事実施基本計画策定後に計画を変更するような出水は発生しておらず、流量確率(1/150相当)による検証、既往洪水からの検証により、基本方針においても既定計画と同様に基本高水ピーク流量を15,200 m³/s(茂岩)、6,800m³/s(帯広)と設定。



- 基本高水流量と計画高水流量の差分については、既存及び新規の洪水調節施設により対応。
- 札内川については、河道管理とともに、継続したモニタリングの実施や洪水時の土砂動態の予測手法等について検討し、結果を踏まえて必要な対策を実施。
- 発生が予想される海溝型地震に対しては、関係機関と連携し、地震・津波被害を軽減。

河川環境の整備と保全

- サケやシシャモ等の魚類の生息環境をはじめ、生物の生息・生育環境を整備・保全。
- 全国で初めて「子どもの水辺」地域拠点施設が帯広市に整備されるなど、河川に関する市民活動が盛んであり、関係機関や地域住民と連携しつつ、利用しやすい水辺を整備・保全。



捕獲されたサケ



ケシヨウヤナギ



水辺でふれあう子供達 (子どもの水辺)

河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

- 動植物の保護・漁業など9項目の検討により、維持流量を設定し、水利流量、流入量を含めて正常流量を茂岩地点において概ね70m³/sに設定。